



事例紹介

SDGSセミナー



PRESENT BY: T.HEIHATA





TABLE OF CONTENT

会社概要

ブリヂストン様

EMOTION
FLEET様



ABOUT COMPANY



- 社 名 : 株式会社セイリョウライン
設 立 : 1991年12月
本 社 : 愛知県名古屋市
事業内容 : 一般貨物自動車運送業・倉庫業・派遣業
主な業務 : 雑貨共配・機器配送・部品保管・内航輸送
従業員数 : 75名
- グループ : アドブルー製造販売・物流システム開発





HISTORY

- 1991年 12月 会社設立
- 2015年 12月 グリーン経営認証永年表彰
- 2017年 07月 第二種利用運送免許
- 2020年 12月 SDGs宣言
- 2021年 04月 働きやすい職場認証制度
- 2022年 03月 健康経営優良法人2022～
- 2023年 03月 運転技能研修(SSS)
- 2023年 09月 あいち女性輝きカンパニー



COMPANY PROFILE PRESENTATION

SEIRYO LINE
CO.,LTD



NHK



概要 放送予定 配信 動画 過去のエピソード





メ〜テレ →



1 SDGs 啓発活動

- ・取組支援ツール『SDGs ナレッジバンク』の普及
- ・啓発イベントの開催

2 CO2削減に資するソリューションの実証実験の継続

- ・昨期から引き続きサポート会員のソリューションを事業者会員で実証実験
 - ・ブリヂストン様
 - ・アルファス様
 - ・LocationMind様
 - ・伊藤忠丸紅鉄鋼様
 - ・eMotion Fleet様
 - ・ジャパン21様

ブリヂストンと運送事業者様との取り組み

■ ブリヂストンが実現したいこと

タイヤ性能の最大活用という観点から、データに基づく運送事業者様の燃料費・CO2排出削減のための運行最適化活動を支援したい。

■ TDBC WG09での実証概要（23年下期～）

運送事業者さま4社に絶大なるご協力をいただき：

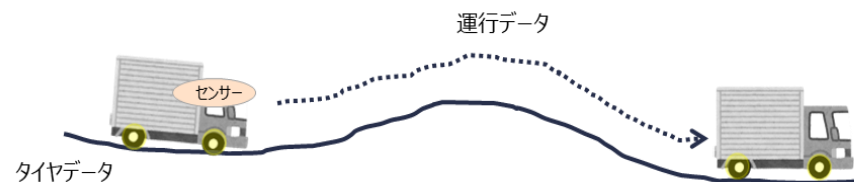
- ・消費燃料の要因分離と影響の可視化技術を実証
- ・車両 / タイヤ / 積載重量 / ルートなどの様々な実運行条件で確認

■ 今後（26年～）

- ・実証データによる消費燃料の要因分析を基に、更なる燃料費削減の取り組みを検討する

<ブリヂストン独自の解析技術>

消費燃料の要因分離が可能

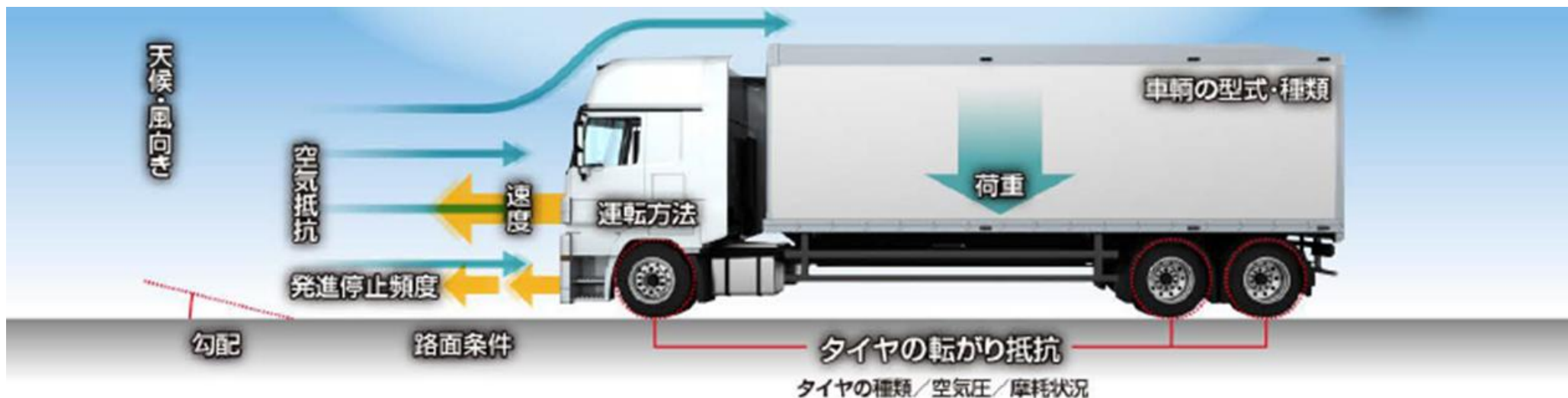


総消費燃料 = タイヤ要因 + 要因A + 要因B + ……

タイヤの貢献を含む燃料消費要因の切り出しが可能

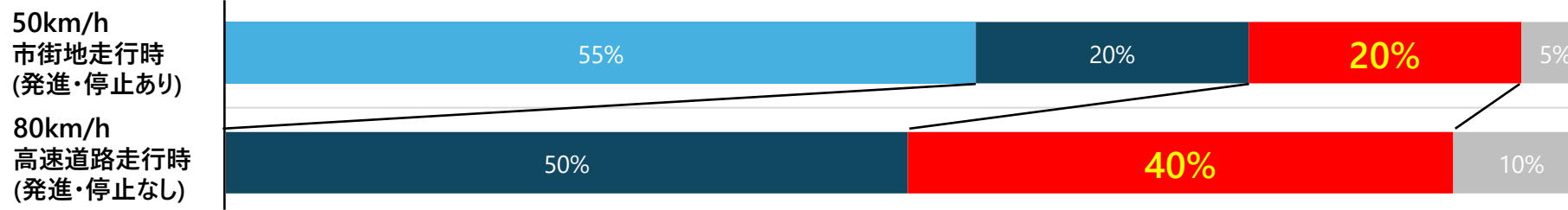
タイヤ会社ならではの観点から、運送事業者さまのSDGsの推進をサポートして参ります

タイヤが燃費にどれくらい影響するかご存じですか？



走行時にタイヤが燃費に与える影響

■ 発進・停止 ■ 空気抵抗 ■ タイヤの転がり抵抗 ■ 駆動系の抵抗



ブリヂストン調べ

タイヤは走行条件によって燃費に大きく影響 ⇒ 高速道路走行の多い運送事業者様ほどエコタイヤの活用をおすすめ

エコタイヤの商品ラインナップ

RT : 今回実証に使った商品

RT このマークがついたボタンにはリットレッド保有サイズがあります。

転がり抵抗低減テストデータについて

※タイヤ転がり抵抗の低減率は、車両実燃費の向上率とは異なります。
※テスト結果に関する詳細データは、タイヤ公正取引協議会に届けてあります。

トラック・バス用

STUDLESS



RT



15%
転がり抵抗低減率
当社一般品 W900 対比

ECOPIA W901

〈計測方法〉当社室内ドラム試験機による計測(タイヤに一定の荷重を負荷し、一定速度のもとに回転する際、接地面に発生する進行方向の抵抗値を測定)
〈テスト条件〉●タイヤサイズ:11R22.5 14PR (ECOPIA W901と一般品W900の比較) ●リム:22.5×7.50 ●荷重:24.52kN ●空気圧:700kPa ●速度:80km/h 転がり抵抗係数(RRC)の結果はECOPIA W901=8.3×10⁻¹、W900=9.8×10⁻¹



RT



28%
転がり抵抗低減率
当社一般品 W910 対比

ECOPIA W911II

〈計測方法〉当社室内ドラム試験機による計測(タイヤに一定の荷重を負荷し、一定速度のもとに回転する際、接地面に発生する進行方向の抵抗値を測定)
〈テスト条件〉●タイヤサイズ:11R22.5 14PR (ECOPIA W911IIと一般品W910の比較) ●リム:22.5×7.50 ●荷重:24.52kN ●空気圧:700kPa ●速度:80km/h 転がり抵抗係数(RRC)の結果はECOPIA W911II=5.9×10⁻¹、W910=8.2×10⁻¹

MIX

RT



32%
転がり抵抗低減率
当社一般品 M888 対比

ECOPIA M801II

〈計測方法〉当社室内ドラム試験機による計測(タイヤに一定の荷重を負荷し、一定速度のもとに回転する際、接地面に発生する進行方向の抵抗値を測定)
〈テスト条件〉●タイヤサイズ:275/80R22.5 151/148J(一般品M888とECOPIA M801IIの比較) ●リム:22.5×8.25 ●試験荷重:28.76kN ●空気圧:900kPa ●速度:80km/h 転がり抵抗係数(RRCの結果) ECOPIA M801II=4.27×10⁻¹、M888=6.26×10⁻¹

バス用

STUDLESS



RT



14%
転がり抵抗低減率
当社一般品 W905 対比

ECOPIA W906

〈計測方法〉当社室内ドラム試験機による計測(タイヤに一定の荷重を負荷し、一定速度のもとに回転する際、接地面に発生する進行方向の抵抗値を測定)
〈テスト条件〉●タイヤサイズ:12R22.5 16PR (ECOPIA W906と一般品W905の比較) ●リム:22.5×8.25 ●荷重:27.1kN ●空気圧:800kPa ●速度:60km/h 転がり抵抗係数(RRCの結果)はECOPIA W906=7.1×10⁻¹、W905=8.3×10⁻¹

RIB

RT



同等
転がり抵抗係数
当社 ECOPIA R221II 対比

ECOPIA R241

〈計測方法〉当社室内ドラム試験機による計測(タイヤに一定の荷重を負荷し、一定速度のもとに回転する際、接地面に発生する進行方向の抵抗値を測定)
〈テスト条件〉●タイヤサイズ:295/80R22.5 153/150J (ECOPIA R241とECOPIA R221IIの比較) ●リム:22.5×9.00 ●荷重:30.43kN ●空気圧:900kPa ●速度:60km/h 転がり抵抗係数(RRCの結果)はECOPIA R241=4.2×10⁻¹、ECOPIA R221II=4.2×10⁻¹

多数のラインナップを揃えています

汎用タイヤ(M888)対比、エコタイヤ(M801 II)での実証結果

実証させて頂いた事業者様	汎用タイヤ						エコタイヤ効果 (1台あたりの推定値)		
	車型	検証期間	走行経路	走行モード	走行距離	総消費燃料	実証期間での 燃料削減量	年間での 燃料削減量	年間での 燃料費削減量 <small>160円/ℓ 換算</small>
①	3軸車	10日間	茨木～久喜	高速道メイン (一定速)	約5,800km	1185 ℓ	111 ℓ (9.4%)	4051 ℓ	648,240円
②	低床4軸車	14日間	愛知県～静岡県	高速道メイン (加減速多め)	約3,900km	934 ℓ	50 ℓ (5.4%)	1304 ℓ	208,570円
③	トラクター2軸車 (ヘッドのみ)	12日間	愛知県～千葉県	高速道メイン	約4,300km	1027 ℓ	26 ℓ (2.5%)	775 ℓ	124,000円
④	2軸車	13日間	神戸市内	一般道メイン	約1,400km	226 ℓ	8 ℓ (3.7%)	235 ℓ	37,630円

⇒ 運送事業者様ごと、実際のオペレーションごとに、エコタイヤ効果を定量化できる
⇒ 是非エコタイヤの活用で燃料費削減をご検討ください（効果の定量化が必要な場合はご連絡ください）



&



&



商用EV × 脱炭素化 × 経済性

アイドリング削減とEV化による燃料費削減

2026年6月16日



ミッション

経済的なグリーンモビリティを現場から実現する

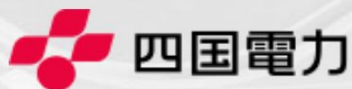
ビジョン

日本発世界へ、
モビリティのデジタル・グリーン変革をリードする

設立

2024年9月

資本パートナー



お客様のステージに応じたソリューションをご提供



本日

脱炭素化・経済性のインパクト

実証内容

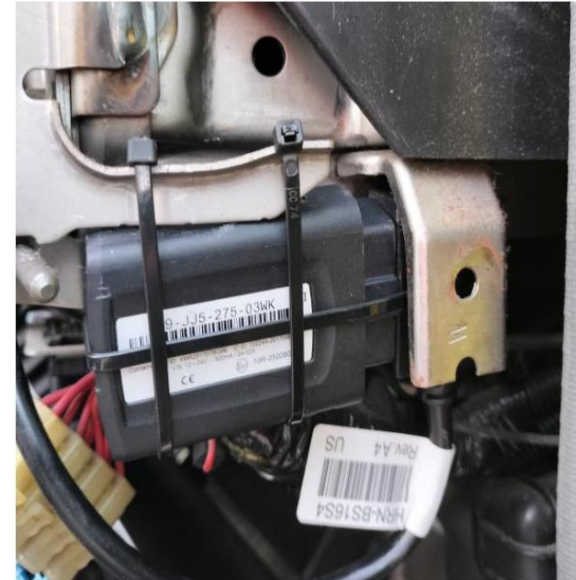
車載器・AI型ドラレコ装着・詳細データを取得し、燃料代削減・EV導入シミュレーションを実施検証する

<実証対象>

- ・台数：5台（ELF、Dutro、Forward）
- ・期間：3か月（4月～6月）

<目的>

- ①**燃料費削減に向けたデータの取得・利活用**
 - アイドリング時使用燃料量・場所の見える化
 - エコドライブと燃費の相関
 - 改善活動によるアイドリング金額の削減
- ②**故障コードの取得**
 - 予防整備に向けたデータの取得と分析
- ③**EV導入シミュレーションの実施**
 - 実データを使用した最適車両のご提案
- ④**AI型ドラレコによるヒヤリハット運転の可視化**
 - エコドライブ推進（6月～）



GEOTAB®



車両データ端末



AI型ドラレコ

①燃料費削減に向けたデータの取得・利活用：5月実績(4台のみ)

従来見えなかったアイドリングコスト・CO2(燃料法)の可視化を実現

- ①総アイドリングコスト：1か月4台で**16,746円**のアイドリング発生、**2.0円/km**のアイドリングコスト
 - アイドリング時間：合計97時間で**120.7ℓ**の燃料使用、稼働中の15%（日本平均10%）
→特に比率の高いELF2とDutro1車両での削減を6月は目指す
- ②燃料法でのCO2排出量：**3.0tCO2**、**0.36kg/km**の排出

ID	走行距離 (km)	使用燃料量 (リットル)	燃費 (km/ℓ)	ガソリン代 (円)		内アイドリング					CO2排出量	
				(円)	キロ当たりコスト	ガソリン代 (円)	アイドリング時間 (時間分)	アイドリング比率 (%)	アイドリング時 使用燃料量 (リットル)	キロ当たり アイドリング コスト	(tCO2)	キロ当たり 排出量 kgCO2
Dutro 1	2,116.6	342.0	6.2	47,430	22.4	4,089	23:45	15%	29.5L	1.9	0.79	0.37
ELF 1	1,526.6	172.8	8.8	23,966	15.7	3,581	15:16	10%	25.8L	2.3	0.40	0.26
ELF 2	1,727.8	224.7	7.7	31,171	18.0	6,843	45:18	24%	49.3L	4.0	0.52	0.30
Forward 1	2,890.7	560.9	5.2	77,792	26.9	2,232	12:58	8%	16.1L	0.8	1.30	0.45
	8,261.7	535.2	6.35	180,359	21.8	16,746	97:18	15%	120.7L	2.0	3.00	0.36

地図上でのアイドリング場所・時間の特定が可能

検索 SRY

1	<ul style="list-style-type: none"> 日本、〒473-0916 愛知県豊田市吉原町平子5 8 日本、〒474-0002 愛知県大府市北崎町2丁目1 3 1 	<ul style="list-style-type: none"> 運転 走行時間 距離 	<ul style="list-style-type: none"> 09:03 am - 09:44 am 41min 12秒 14km 	<ul style="list-style-type: none"> 停止 停車時間 アイドリング 	<ul style="list-style-type: none"> 09:44 am - 12:16 pm 2h 31min 2h 16min
	<ul style="list-style-type: none"> 日本、〒474-0002 愛知県大府市北崎町2丁目1 3 1 日本、〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅1丁目1 -3 	<ul style="list-style-type: none"> 運転 走行時間 距離 	<ul style="list-style-type: none"> 12:16 pm - 01:23 pm 1h 7min 23km 	<ul style="list-style-type: none"> 停止 停車時間 アイドリング 	<ul style="list-style-type: none"> 01:23 pm - 01:37 pm 14min 12秒 9秒
	<ul style="list-style-type: none"> 日本、〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅1丁目1 -3 日本、〒455-0072 愛知県名古屋市区須成町1丁目1 -3 	<ul style="list-style-type: none"> 運転 走行時間 距離 	<ul style="list-style-type: none"> 01:37 pm - 02:06 pm 29min 16秒 7km 	<ul style="list-style-type: none"> 停止 停車時間 アイドリング 	<ul style="list-style-type: none"> 02:06 pm - 02:29 pm 23min 3秒 57秒
	<ul style="list-style-type: none"> 日本、〒455-0072 愛知県名古屋市区須成町1丁目1 -3 	<ul style="list-style-type: none"> 運転 走行時間 	<ul style="list-style-type: none"> 02:29 pm - 02:30 pm 55秒 		

デバイス	Depart Date	開始日	停車日付	目的地	アイドリング期間
SRY ELF 16-06	5月 25, 2026	5月 25, 2026 9:16:40 午前	5月 25, 2026 9:56:02 午前	日本、〒474-0002 愛知県大府市北崎町2丁目1 2 9	2:01
SRY ELF 16-06	5月 29, 2026	5月 29, 2026 9:03:45 午前	5月 29, 2026 9:44:58 午前	日本、〒474-0002 愛知県大府市北崎町2丁目1 3 1	2:16

ジオフェンス機能で自社駐車場内でのアイドリング時間の可視化

- ジオフェンスをお好きな形で設定可能

<Dutro 1 >

- 自社駐車場内は4時間19分、18%と最長
- 最長は5月19日の6時34分から48分間



デバイス	アイドリングデータ					
	開始日	発生時刻	総時間	使用燃料量	営業所内	使用燃料量
Dutro 1	5月1日	7時07分			0:12	0.3
	5月11日	9時31分			0:18	0.4
	5月12日	6時25分			0:31	0.6
	5月13日	8時49分			0:14	0.3
	5月14日	7時31分			0:26	0.5
	5月15日	7時27分			0:27	0.6
	5月18日	9時23分			0:26	0.5
	5月19日	6時34分			0:48	1.0
	5月20日	10時37分			0:11	0.2
		合計		23:45	29.5	4:19
ELF 1	5月18日	7時02分			0:14	0.4
	合計		15:16	25.8	1:35	0.4
ELF 2	合計		45:18	49.3	0:27	
Forward 1	5月7日	16時34分			0:14	0.3
	5月8日	4時51分			0:13	0.3
	5月15日	11時43分			0:31	0.6
	合計		12:58	16.1	1:38	1.2

6月はDutroとELF2で営業所内アイドリング削減を目標

・週報によるドライバー様とのコミュニケーション

ELFをEV化することで燃料費△27~37%、CO2△32~41%

<Zo Motors社のZM6(3t)で簡易シミュレーションを実施>

- ・航続距離：ELFの1日あたりの最大走行距離を加味しても、EV(ZM6)で対応可能
- ・燃料費、CO2共に大幅に削減可能
- ・導入に向けて：更に詳細なコストシミュレーションを実施予定

ID	走行距離 (km)	1日あたりの		燃費 (km/ℓ)	ガソリン代		CO2排出量 (tCO2)	キロ当たり排出量 kgCO2
		最大走行距離	最低走行距離		(円)	キロ当たりコスト		
Dutro 1	2,116.6	227.6	69.0	6.2	47,430	22.4	0.79	0.37
ELF 1	1,526.6	129.9	20.3	8.8	23,966	15.7	0.40	0.26
ELF 2	1,727.8	108.5	92.3	7.7	31,171	18.0	0.52	0.30
Forward 1	2,890.7	219.4	33.7	5.2	77,792	26.9	1.30	0.45
	8,261.7	171.4	53.8	6.35	180,359	21.8	3.00	0.36

全ての車両EV化した場合(例：Zo Motors ZM6)						
使用電気代 (¥)	vsディーゼル (¥)	vsディーゼル (%)	キロ当たりコスト	キロ当たりコスト (vsディーゼル)	CO2排出量	CO2排出量 vsディーゼル (%)
24,052	-23,378	-49.3%	11.4	-49.3%	0.4	-52.5%
17,347	-6,619	-27.6%	11.4	-27.6%	0.3	-32.2%
19,634	-11,537	-37.0%	11.4	-37.0%	0.3	-41.0%
32,849	-44,943	-57.8%	11.4	-57.8%	0.5	-60.4%
93,882	-86,477	-47.9%	11.4	-47.9%	1.5	-51.2%

<前提>

- ・前提データ諸元：5月の実走行データを活用
- ・EV化車両：Zo MotorsのZM6のデータ活用（電費も実録値2.2km/kwhを使用、航続距離180km）

INTEGRATED GREEN LOGISTICS OPERATION

INTEGRATED GREEN LOGISTICS HUB

PORT SMART TERMINAL

MotionFleet

経済的なグリーンモビリティを、現場から実現する

TRUCK 004 -
- [ROUTE OPTIMIZED],
cargo status [ON-TIME]

CHARGER 3 -
SUPPLY:
150kW

ARRAY 1 -
GHV: 18kW
EFF: 98%

TRUCK 003 -
- [DELIVERY ID 1201],
traffic alert

TRUCK 002
- [ENERGY OPTIMIZED],
Cargo status [ACTIVE]

TRUCK 003 -
- [ENERGY DRAW 199kW],
charging status [ACTIVE]

DUX ID 10 - ROUTE 3
passenger [TH]
B: EEPN EE [OMLM5]

STORAGE UNIT 2 -
SOC: 95%,
DEMAND: LOW

TAXI ID 02
02- 95% SOC,
FARE ESTIMATE S12

TAXI ID 01 -
85% SOC, 85- SOC,
DISPATCHED

SEIRYO LINE
CO.,LTD



LET'S CONNECT WITH US!



PEOPLE FIRST.
DIGITAL NEXT.
LOGISTICS FOR THE FUTURE.

BRIDGESTONE



eMotionFleet